

# フォーム構築における マイクロセットアップ見極めの考え方

青牛式トレードマスター講座

数多く確認できるマイクロセットアップをどう処理すればいいのか

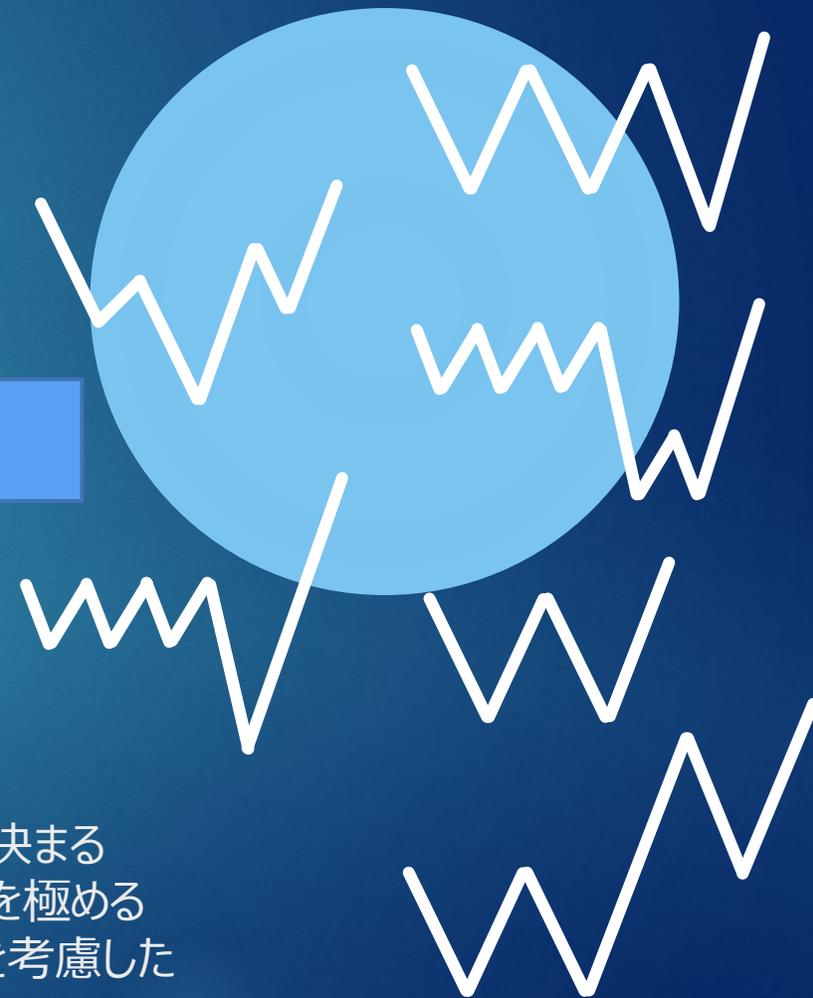
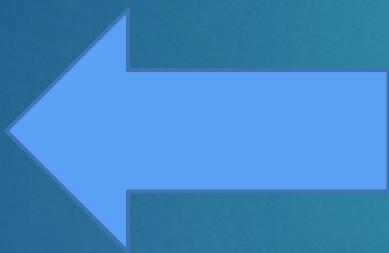


# 執行時間足でのパターン認識構築が最優先事項

《W1,D1,H4》

《H1,M30》

《M15,M5,M1》



- すべてのセットアップは、上位足のどういう場面で起こっているかによって意味が決まる
  - まずは、採用した執行時間足でのパターン認識を極める
  - その次に、上位足の状況によって受ける影響を考慮したセットアップの強度認識を図る

# 執行時間足でのパターン認識構築が最優先事項

《H1,M30》

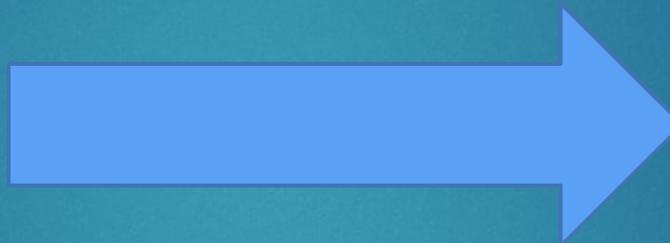


【Middle Set Up】

TRD転換

【Technical Signal】

RSSP転換でハンマー確定



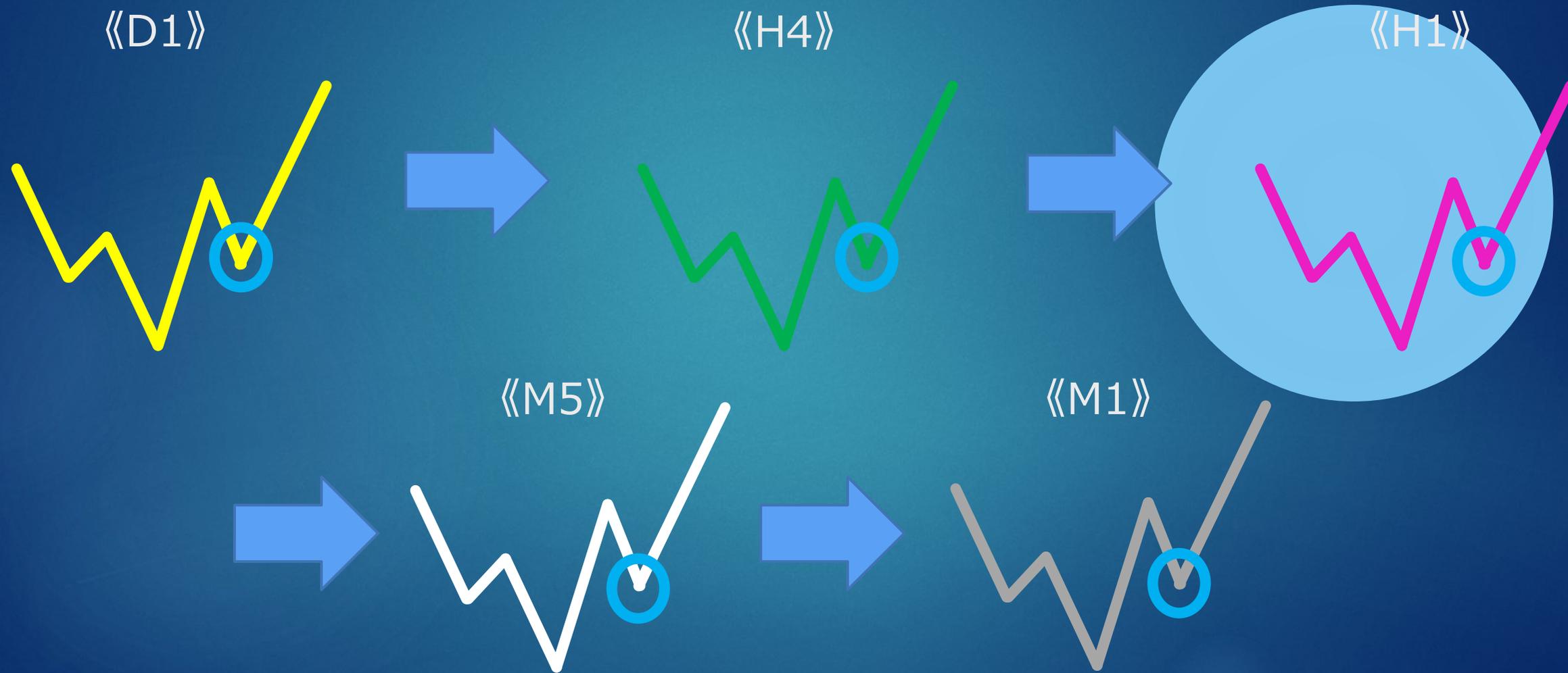
《M15,M5,M1》



この見極めが確実にできるようになった

→ 環境によって一つ一つ異なる下位足でのパターン認識の採集

複合優位性セットアップを見極めるには、  
採用パターンの自己認識に対する絶対的な自信が必要不可欠



- 採用するパターンを**厳密に定義**すること
- 実行時間足を決めること



これらを、リアルチャートで**一定水準以上の確度で認識できるようにすることが重要**

∴ ミクロセットアップの見極めは、その次のフェーズである